

第1回江南市スポーツ推進計画策定委員会 会議録（概要）

会議名：第1回江南市スポーツ推進計画策定委員会

開催日時：令和元年7月8日（月） 午後1時10分～午後2時10分

場所：江南市役所 3階 第3委員会室

委員：出席委員9名

脇坂 康彦（江南短期大学）
石井 雅彦（社会教育委員）
櫻澤 弘章（江南市体育協会）
山田 尚代（江南市スポーツ推進委員会）
石黒 道世（江南市スポーツ少年団）
西部 茂夫（江南市老人クラブ連合会）
伊藤 光洋（社会福祉協議会）
斉木 英男（江南市小中学校校長会）
井上 梨乃（市民代表）

事務局：村 良弘（教育長）
菱田 幹生（教育部長）
中村 雄一（スポーツ推進課長）
宇佐見 裕二（スポーツ推進課副主幹）
前田 一樹（スポーツ推進課スポーツ推進グループ員）
光永 翔太（スポーツ推進課スポーツ推進グループ員）

傍聴人数：0人

[委嘱状の交付]

[会議の公開について]
事務局より説明

[教育長あいさつ]

[委員等の紹介]

[委員長の選出]

石黒委員の推薦により、委員長に脇坂委員を選出

[委員長あいさつ]

[職務代理者の選任]

委員長の指名により、職務代理者に石井委員を選任

[議題 1. 江南市スポーツ推進計画策定委員会について]

事務局：江南市スポーツ推進委員会策定委員会設置要綱について説明

[議題 2. 江南市スポーツ推進計画の基本的な考え方について]

事務局：国・愛知県・県内各市町のスポーツ推進計画基本理念等について、また今後の計画策定の進め方について説明

委員：東郷町の資料を見ると、運動とスポーツを分けて考えている。スポーツという言葉が競技性を持っている言葉であり、今回策定する中身を見ると、どちらかというところと大人であれば、少し運動していただきたい、また小さい子どもであれば、体を動かすことを楽しんでもらいたいという思いがあるので、そうなってくるとスポーツという言葉が合わない可能性がある。その点は、今後詰めていくということによろしいか。

事務局：こちらの計画の中でも、言葉が混在するような形にはなっていくかと思う。子どもの運動、成人のスポーツというところで計画策定を考えている。

[議題 3. 江南市の運動・スポーツ活動の状況について]

事務局：子ども・一般・高齢者・障害者といった各世代、またスポーツ団体等の運動・スポーツ活動の状況について説明

委員長：来年パラリンピックがあるが、KTXアリーナでの障害者の活動は出来ますか

事務局：サウンドテーブルテニスの台や車いすの方が利用できる卓球台、またローリングもあり障害者の方が気軽に参加できる器具もそろっている。

委員長：ブラインドサッカー等あるので、今後徐々に取り込んでいただけたらと思う

[その他について]

事務局：8月9日（金）午後1時30分から場所はKTXアリーナ会議室で行う。
計画を策定するにあたり、議題の中で示した資料に基づいて策定したいと考えている。よって市民へのアンケートは今のところ考えていないので、ご了承いただきたい。

[第1回江南市スポーツ推進計画策定委員会 終了]